





令和4年度 基本評価調書①		所管部局	総合政策部	所管課	地域政策課		
施策名	グローバル人財等の育成			施策コード	0212		
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)B		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	2
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額(千円)	R 4	29,315	R 3	30,669	R 2	34,368	

施策目標	<p>活力ある未来を拓くため、ほっかいどう未来チャレンジ基金を活用して、若者の留学支援や世界を舞台に活躍出来る人材の育成や、既成概念にとらわれないアイデアで「新たな価値」を創出する人材の発掘・育成を推進する。</p>	
現状と課題	<p>人口減少やグローバル化進展の中で、北海道が活力ある地域として発展し続けていくため、北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つグローバル人材の育成・確保が必要である。</p>	
前年度二次評価意見	-	<p>対応状況 (R4.3時点)</p> <p>-</p>

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を活用し、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人等を目指して海外での資質向上に取り組む挑戦を支援する。 帰国した留学生が成果を北海道に還元できるように、道主催事業へ講師として紹介するなど各部局等と連携を図るとともに道内各地域で留学成果を報告するなど効果の波及に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度助成対象者の募集及び審査を実施し、学生留学コース4名、スポーツコース1名を選抜した。 【助成対象者推移】 R2:0名、R3:2名、R4:5名 帰国した留学生が、道教育委員会主催の高大連携事業「Hokkaido Study Abroad Program」に講師として参加し、留学成果を報告するなど、帰国者のさらなる成長を促すとともに事業のPRを図ることができた。

連携状況	<ul style="list-style-type: none"> 道教委主催の高大連携事業「Hokkaido Study Abroad Program」に留学帰国者を講師として派遣した。 基金の趣旨に賛同した企業より、商品や店舗と連携した取組による寄附があった。 <ul style="list-style-type: none"> ○イオン北海道(株)：道内イオン各店舗での募金箱設置(8月～9月)による寄附 ○日糧製パン(株)：「ラブラブサンド」の売上(12月～1月)の一部を寄附 ○大王製紙(株)：「エリエール北海道ティッシュなまらたっぷり」の売上(10月～3月)の一部を寄附
緊急性優先性	<p>大学関係者や関係団体が参加する「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」や大学関係者へのヒアリングにおいて、コロナ禍においても学生の留学に対する意識は高く、本事業に対する一定のニーズがあることが分かったことから、オンラインにて「海外留学セミナー」(2月28日、3月1日)を開催するとともに、4月から令和4年度助成対象者の募集及び審査を実施した。</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	グローバル人財等の育成	施策コード	0212
----------------------	-----	-------------	-------	------

<成果指標の達成状況> ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	件	R1年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」応援パートナー・応援サポーター数	目標値		92	97	102	117	117.6%	A
	実績値		95	97	120			

設定理由	基金への支援企業等の増加により、事業推進に必要な資金の獲得を図る。
------	-----------------------------------

分析（主な取組と成果）	
企業への支援の呼び掛けや帰国後の基金生の活動の周知などにより、基金の趣旨に賛同する企業や団体、個人が増加。その結果、令和3年度の実績値が最終目標を既に達成している。	

指標名②	増加	人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」による助成者数	目標値		35	44	37	55	89.2%	C
	実績値		26	28	33			

設定理由	基金を活用し、海外での挑戦を目指す若者を増加させることにより北海道に貢献する人材育成を図る
------	-----------------------------------------------

分析（主な取組と成果）	
基金事業のPRなどの効果やコロナ禍における留学環境に改善の兆しが見えたことから、昨年度より多くの応募があったものの、感染拡大前の状況に比べると依然として応募者数は少なく、最終的な助成対象者は5名に留まった。 【助成対象者コース別内訳】 学生留学コース 4名、スポーツコース 1名	

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
		目標値					-	-
		実績値						

設定理由	
------	--

分析（主な取組と成果）	

【総合判定】

連携状況	○	緊急性優先性	○	指標判定	B	総合判定	概ね順調
------	---	--------	---	------	---	------	------

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	新型コロナウイルス感染症の影響により留学マインドが低下しているため、きめ細かな情報発信や帰国者の活動PRなどにより、制度を広く全道に周知する。 また、各大学や専門学校、パートナー企業に呼び掛け、応募者の掘り起こしを図るとともに、応募者増加に向けた留学説明会や相談会を実施する。
	②	
	③	

令和4年度 事務事業評価調書	施策名	グローバル人材等の育成	施策コード	0212
-----------------------	-----	-------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度						令和4年度			
						前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制			フルコスト(千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応方針番号	方向性	
1427	-	一般	北海道未来人材応援事業費	本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」により支援する。	地域政策課	0	28,853	3,995	1.8	0.4	2.2	45,978	①	改善(指標分析)	
1428	-	一般	北海道未来人材応援基金運営費	ほっかいどう未来チャレンジ基金の継続的、安定的な運営をするため、企業訪問による協賛協力要請の実施や、道内外個人の寄附利便性向上を図る。	地域政策課	0	462	462	0.2	0.4	0.6	5,132	-	-	
計						0	29,315	4,457	2.0	0.8	2.8				

